

社会

イメージする・想像する

<困難さ>

学習課題の解決に必要な資料を自分で探して活用することが難しい

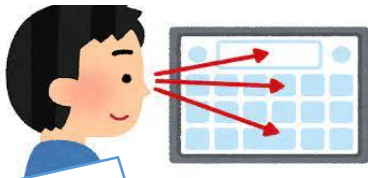
<指導の工夫の意図>

社会的事象等を読み取りやすいように

<手立て>

① 実物、動画、写真など視覚的に示す

・実物を示したり、動画や画像を通して課題を説明したりする。



ポイント！

文字や漢字から社会的事象等をイメージすることが難しい場合には、実物を示したり、動画を通して課題を説明したりすることで学習上の課題に取り組みやすくすることができる。

② フォーマットを活用する

・ワークシートを通じて学習課題に気づき、主体的に取り組めるようにする。



ポイント！

課題に対する解答をまとめる際には「伝えたいこと」と「説明」の2段階構成や「伝えたいこと」「理由」「例」「まとめ」の4段階構成等のフォーマットのワークシートを活用する。

<困難さ>

取り扱う社会的事象のイメージがわからず言葉の意味を理解することが難しい

<指導の工夫の意図>

社会的事象の意味を理解しやすいように

<手立て>

① 社会の営みと身近な生活のつながりを意識できるような実際的な体験を取り入れる

・身近な話題を用いて実際的な体験を取り入れる。

ポイント！

国会や裁判などの社会的な事象等の理解が難しい場合には、体験を取り入れることでイメージをもつことができる。様々な立場を体験することで社会の成り立ちを考えることにもつながる。



② 理解できる言葉に置き換えて視覚的に提示する

・既習の内容を基に説明を行い、同時にその語句をイメージできるようにする。



ポイント！

新出の語句の理解が難しい場合には、既習の内容を基に説明を行い、同時にその語句をイメージできるような写真等を示すことで理解を深めることができる。

読む・読み取る

<困難さ>

地図等の資料から必要な情報を見つけ出すことや、読み取ることが難しい

<指導の工夫の意図>

情報を視覚的に整理できるように

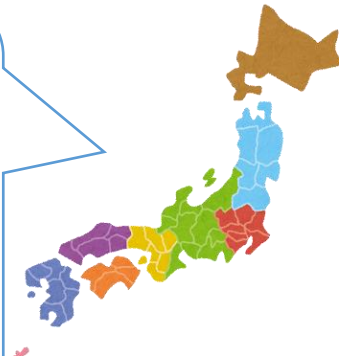
<手立て>

① 掲載されている情報を精選化する

・必要な情報のみを精選して伝える。

ポイント！

情報量が多いと必要な情報を見つけることが難しいため、色分けしたり、必要のない情報を省いたりしながら情報を精選することで情報を読み取りやすくする。



② ICT機器等を活用して必要な情報を強調する

・タブレット等のICT機器を活用し、必要な情報だけを強調する。

ポイント！

タブレット等を活用し、必要な情報だけを拡大して強調したり、二つの情報を同時に見比べたりすることで理解を深めることができる。



見通しをもつ

<困難さ>

問題解決の方法を考えることが難しい

<指導の工夫の意図>

問題となっている事象を整理できるように

<手立て>

① ワークシートを用いて事象を整理する

・ワークシートを用意し、考えを導き出せるような順序を示す

ポイント！

事実と自分の考えを整理して考えることが難しい場合には、ワークシートを活用し、事象を整理できるようにすることで主体的に取り組むことができる。



② 事実をカード等に整理して示し、学習順序を考えられるようにする

ポイント！

グループ学習では、KJ法を用いてカードに書き込んで情報を出し合って情報を整理する。他者の意見も参考にしながら解決方法を見つけ出すことで理解を深めることができる。

